

令和5年12月14日

第4回定例会議案

(別冊2-2)

厚真町議会

現地調査古民家

① 旧畑島家住宅

旧畑島家住宅：明治43年（1910年）、先に入植していた福田林造氏の村外転出に伴い家屋の譲渡を受け移築、昭和5年（1930年）、先代の竹次郎氏が現居住地に再移築した建物で、富山県砺波地方を中心に古くから伝わる「杢の内（わくのうち）」という特徴的な梁組構造の広間を持つ「越中造民家型」の農家住宅。

- ・事業名：古民家再生事業【空き家再生等推進事業】
- ・事業年度：2012～2014（再生工事：2013～2014）
- ・2012 古民家再生基本計画策定
- ・2013 古民家再生実施設計、古民家解体工事
- ・2014 古民家再生工事、外構工事
- ・事業費：43,516千円
- ・建物概要：建築面積149.96㎡ 延べ床面積142.85㎡
- ・利用用途：パンの製造・販売

② 旧山口家住宅

福井県今立郡片上村(現在の鯖江市)から厚真村に入植した山口金松氏が、明治41年(1908年)に建築した建物で、福井県大野盆地・越前平野を中心に分布する「越前Ⅱ型」の特徴を持つ農家住宅。北陸地方の真宗の影響を受けた「坊主の間」「仏壇の間」などの平面形式を持ち、「縁起のいい木」として重用された木材の「エンジュ」が全体的に使用された貴重な遺構である。

・事業名: 古民家再生事業

・事業年度: 2016～2021

2016～2017: 解体設計・工事、実施設計【空き家再生事業】

2018～2020: 震災のため中断

2021: 建設工事【社会資本整備総合交付金 効果促進事業】

・事業費(2021): 72,451千円

・建物概要: 延べ床面積189.63㎡

・利用用途: レストラン、民泊施設

4. 厚真町における古民家再生事業の財源内訳

旧畑島邸（事業期間：H25～H26）

総事業費 43,516 千円 うち 一般財源 6,919 千円			事業者負担
国交付金 約 50 %	過疎債（交付税参入分） 約 34 %	一般財源 約 16 %	営業用設備・備品等

旧山口邸（事業期間：R3 解体は H30）

総事業費 72,451 千円 うち 一般財源 12,613 千円			事業者負担 約 5,000 千円
国交付金 約 43 %	過疎債（交付税参入分） 約 39 %	一般財源 約 17 %	営業用設備・備品等

旧幅田邸（事業期間：R3～R4）

総事業費 210,482 千円 うち 一般財源 36,518 千円			事業者負担 約 47,000 千円
国・道交付金 約 37 %	過疎債（交付税参入分） 約 35 %	寄付金 約 10 %	一般財源 約 17 %
			営業用設備・備品等

* 寄付金は「ふるさと納税」及び「企業版ふるさと納税」で、寄付者の寄付使用目的が古民家再生に指定

* 事業途中に物価高騰対策として約 17,000 千円（一般財源）の追加補正

整備後のイメージ①

厚真町庁舎周辺等整備基本構想・基本計画（R5.3）より抜粋

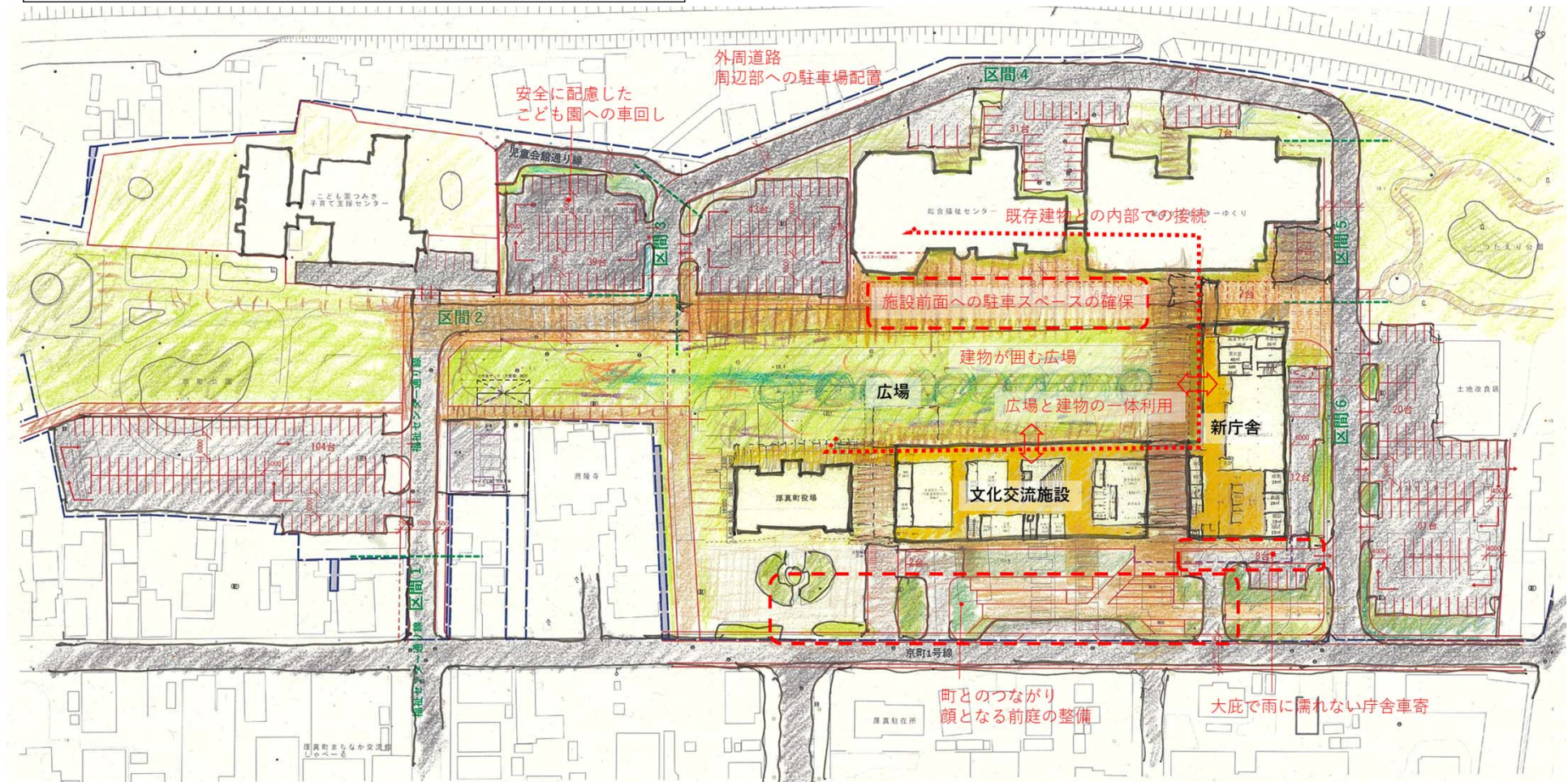


整備方針

- ① 周辺との連携・ネットワークを重視
- ② 広場を庁舎周辺エリアの中心に配置
- ③ 広場を囲うように新たな建物（役場庁舎、文化交流施設）を配置

整備後のイメージ②

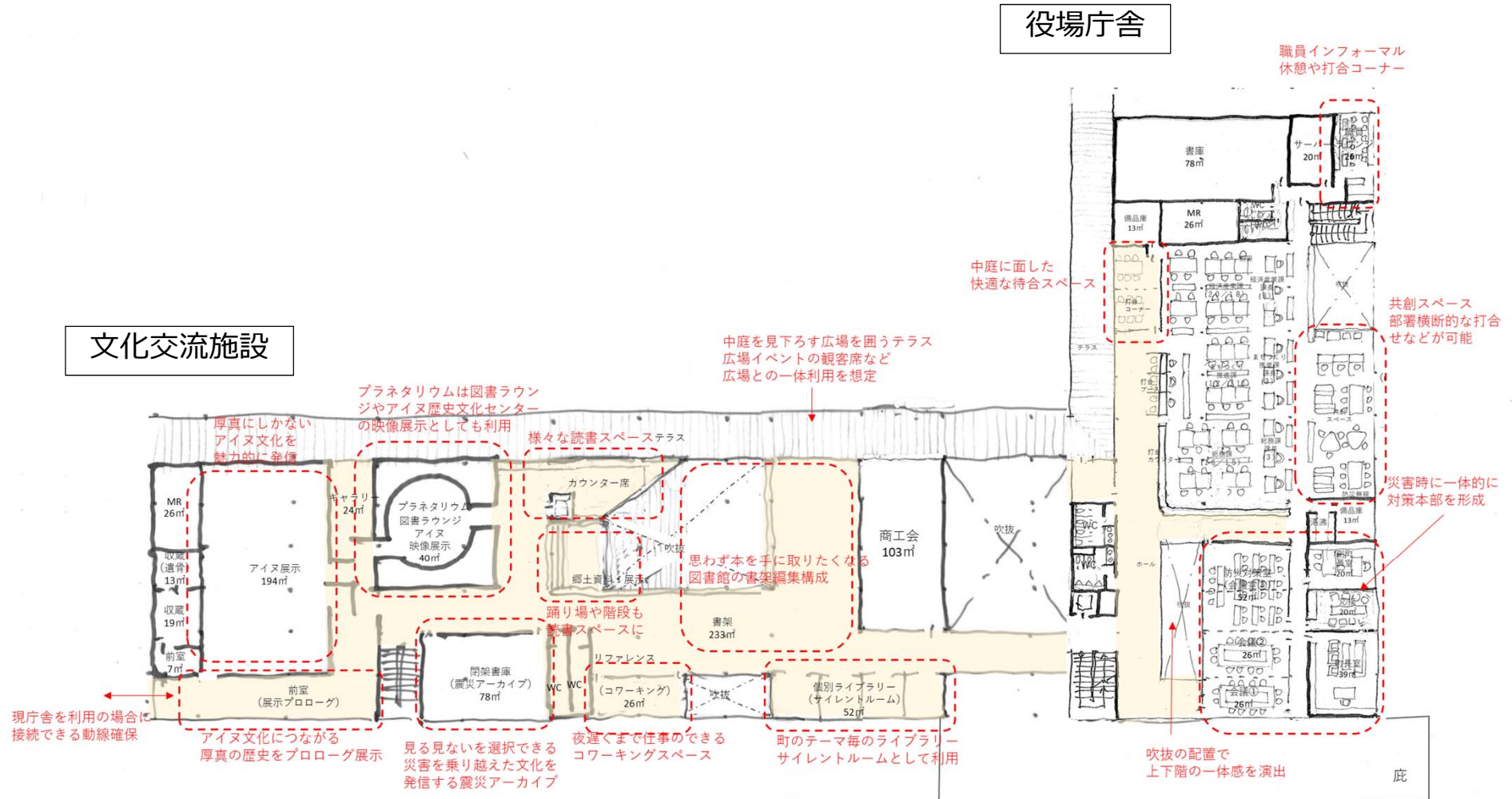
厚真町庁舎周辺等整備基本設計（検討段階イメージ）



役場庁舎・文化交流施設の平面図②

厚真町庁舎周辺等整備基本設計（検討段階イメージ）

【2F】



役場庁舎・文化交流施設の平面図③

厚真町庁舎周辺等整備基本設計（検討段階イメージ）

【3F】

